

始業式（4月8日（金）） 校長挨拶

さあ、いわき湯本高校という新しい学校の始まりです。
新たな歴史の幕開けです。
皆さん一人一人の頑張りが新しい学校の歴史と伝統をつくります。
本校舎の生徒と遠野校舎の生徒が力を合わせ、いわき湯本高校という新しい風を吹かせましょう。

4月2日（土）Jヴィレッジで、Fリーグが開幕し、F1に昇格したいわき湯本高校が出場しました。

本校舎・遠野校舎サッカー一部の生徒の頑張り、新たな歴史の始まりを、この目でしっかりと見ながら、私も胸が熱くなりました。

Jヴィレッジから、いわき湯本高校という新しい風が吹きました。

はじめよければすべてよし。

いわき湯本高校にとって、皆さん一人一人にとって、今年は特別な一年。

すばらしい一年にしよう。

すばらしい一年にするために、大切なことが3つあります。

「ありがとう」と言える・言ってもらえる人になること、「地域とともにある学校」をつくること、「学校づくりは自分づくり」というプロジェクトに主体的に参加すること。

まず、魔法の言葉「ありがとう」についてです。

自分から「ありがとう」と言えるためには、いろいろな人にお世話になっているという謙虚な気持ち、感謝する心、思いやりの心、「友愛」の心を持つことが必要です。

周りの人から「ありがとう」と言ってもらえるためには、いろいろなことに挑戦する力、今までできなかったことをできるように努力する力、「創造」する力が必要です。

「ありがとう」と言える。「ありがとう」と言ってもらえる。この二つのことができる人こそが、夢や理想を持った人、「自立」した人です。

「友愛の心」を持ち、「創造する力」を身につけ、「自立」した人になることを期待します。

次に、「地域とともにある学校」についてです。湯本高校も、遠野高校も、地域の深い愛情と大きな期待によって支えられながら、地域を愛し、地域に愛され、地域を支える人を育ててきたという伝統があります。

両校のよき伝統を引き継ぐ、いわき湯本高校も、地域に根ざした学校となること、また、皆さん一人一人も、地域を誇りに思える人、地域に応援してもらえる人、地域に貢献できる人になることを期待します。

最後に、「学校づくりは自分づくり」についてです。

「これまでの自分」を「よりよくする」「もっと高める」ことが「新しい学校の伝統・歴史をつくる」ことにつながります。

新しい学校づくりという「チャンス」を生かすことによって、それまで気づかなかった「新しい自分の可能性」を発見し、磨き上げ、成長することができます。

「学校づくりは自分づくり」というプロジェクトは、他校にはない、「いわき湯本ならではの」教育です。このプロジェクトに「主体的に」参加し、夢の実現につなげましょう。

「ありがとう」と言える・言ってもらえる「新しい学校づくり」を通して、校訓「自立・友愛・創造」という3つの力を身につけ、「地域」を支える核となって活躍する、社会で貢献できる人材となり、一人一人の夢を実現する「新しい自分づくり」につなげ、すばらしい一年にしましょう。

先生も全力で応援します。一生懸命頑張る・努力する皆さん一人一人を、心を込めて、力の限り、粘り強く支えます。愛情あふれる、指導力のある先生がそろっています。

皆さん一人一人の頑張り・奮闘努力が、いわき湯本高校の歩み・伝統となります。

はじめよければすべてよし。

新しい一年。始まりの一年。特別な一年。

すばらしい一年にしよう。

さあ、ともに行こう。輝く未来に向かって、頑張れ、いわき湯高生。